

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2025 年 9 月 5 日（金）17 時 00 分～18 時 40 分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：太田耕司、深川美里、長尾透、永井洋、勝川行雄、美濃和陽典、鈴木竜二、安東正樹、

日下部展彦、大朝由美子*、新沼浩太郎、米原厚憲、本田充彦、山村一誠

欠席理事：和泉究、寺田幸功、新永浩子

出席監事：熊谷紫麻見、中村文隆*

（*は途中から出席）

また、一丸事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、理事総数 17 名のうち理事会開始時点で出席者が 13 名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また、オンライン会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 太田会長、深川副会長、長尾副会長、熊谷監事、中村監事が署名人となることを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前回（2025 年 6 月 17 日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

日本天文学会の各議題は、太田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 新規加入者および移籍の承認（資料 3、勝川）

2025 年 6 月 12 日～2025 年 8 月 29 日までに正会員入会申請 94 名、準会員入会申請 11 名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 猿橋賞への対応の承認（資料 4、太田）

猿橋賞を運営する一般財団法人「女性科学者に明るい未来をの会」への賛助の依頼があり、その経緯と対応案について説明があった。今後他の団体から依頼があった場合にどう対応するか、会員個人に寄付を呼びかけることはあるのか、賛助上限について意見交換した。多数決の結果、賛助のための枠を次年度以降予算計上し（例えば 10 万円）、賛助依頼に応じて、理事会（或いは実務理事会）で都度判断することとした。

II-3. 若手国際交流研究会（仮称：日光シュンポシオン）準備 TF の承認（資料 5、太田）

若手研究者と海外の一流研究者の交流のための研究会を、天文学会主催で毎年開催する提案が河合氏よりあり、その経緯と対応案について説明がなされた。実施要項等を整備するための準備タスクフォースを設置すること、またタスクフォースのメンバーが提案通り賛成多数で承認された。

II-4. 五藤光学・西村製作所 100 周年への感謝状贈呈の承認（資料 6、太田）

両社が望遠鏡を製作して一般向けに販売を始めて 100 周年になることを記念し、天文学の発展や教育普及への長年の貢献に対して感謝状を贈呈する提案があり、賛成多数で承認された。

II-5. 事務所職員就業規則・規程類の制改定の承認（資料 7、永井）

育児・介護休業法の改正などに伴う就業規則の改定と、事務所職員の行動規範の制定について説明があり、賛成多数で承認された。

II-6. 条文追加に伴う定款・細則の修正の承認（資料 8、永井）

行動規範に関する条文追加に伴う条番号の修正について説明があり、賛成多数で承認された。

II-7. ネットワーク委員会委員長変更の承認（資料 9、永井）

ネットワーク委員会委員長を永井庶務理事に変更することが提案され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 2、勝川）

2025 年 6 月 12 日～2025 年 8 月 29 日までに正会員退会 1 名、準会員退会 2 名があったことが報告された。

III-2. ハラスメント相談窓口の検討状況（資料 10、太田）

行動規範違反に対する相談フローの検討状況が紹介された。前期から検討されている、内部・外部の相談窓口の設置を念頭に、その先の流れとして、人権委員会（仮称）、調査委員会（人権委員会が事案毎に設置）による調査に基づき、人権委員会が調整や処分内容を決定する等の流れが検討されていることが報告された。プライバシー保護や機動性のためコンパクトにしたほうがよいなどのコメントが理事よりあった。現在検討段階であり今後さらに議論を継続することを確認した。

III-3. CoC 天文月報掲載の報告（資料 11）

新永理事が欠席のため、太田会長より行動規範制定の月報記事が掲載予定であることが報告された。

III-4. 男女共同参画委員会からの報告（資料 12）

男女共同参画学協会連絡会の幹事学協会が輪番制になった場合の対応について、新永理事が欠席のため次回理事会に持ち越すこととした。

III-5. 年会実行委員会からの報告（資料 13、永井）

(i) 2025 年秋季年会（9/9 火-11 木、海峡メッセ下関）の準備状況と講演数が 760 で例年よりも多いことが報告された。(ii) 2026 年春季年会（2026/3/4 水-7 土、京都産業大学）の会場確保状況と企画セッションを 1-2 件開催予定あることが報告された。(iii) 新しい年会システムにおいてオンライン予稿集について検討していることが報告された。(iv) X（銀河形成・進化）セッションの肥大化に対応する検討を行っていることが報告された。

III-6. PASJ 編集委員会からの報告（資料 14、安東）

OUP の 2024 年決算で分配額が決まったこと、投稿査読システムの機能追加（査読者の登録機能、査読者提案機能）を検討していることが報告された。

III-7. 天文教育委員会からの報告（資料 15、大朝）

(i) 天文教育フォーラムを秋季年会中に開催予定であること、(ii) 講師紹介プログラムで 3 名の紹介があったこと、(iii) 全国七夕同時講演会において講師者紹介プログラムの周知を行ったこと、(v) 男女共同参画委員会と協働し女子中高生夏の学校へ協力したこと、(vi) IAU OAE の天文

教育コーディネーター (NAEC) 日本チームが、海外コーディネーターと共同で大阪・関西万博で天文体験実習と天文教育パネル討論会を開催予定であること、(v)「天文学と社会」連絡会が立ち上がったことが報告された。

III-8. 2026 年秋季年会 (岡山理科大) からの報告 (資料 16、本田)

岡山理科大学にて開催予定の 2026 年秋季年会の準備状況について報告された。開催日程は 9 月 8-10 日を主案としており、他と重複がないことを確認したうえで確定することを確認した。

III-9. 各事業の近況報告 (資料なし)

日下部月報理事より行動規範制定に関する記事を掲載予定であること、山村ジュニアセッション担当理事より次回ジュニアセッションを春季年会中の 2026/3/7 に行うこと、新沼年会開催地理事より来週の年会に向けて準備を進めていること、大朝理事より寺田年会開催地理事の代理として 2027 年春季年会のために助成の手続きをしていること、がそれぞれ報告された。

III-10. 事務所近況報告 (一丸)

一丸事務長が 7 月から着任したこと、新理事の登記は完了していることが報告された。

III-11. その他

来年度の事業計画は、12 月の理事会の議事となるため、事業計画の準備を各委員に依頼することが報告された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会 (2025 年 6 月 17 日) 議事録 (案)

資料 3 加入者の承認、移籍の承認・報告、退会の報告

資料 4 猿橋賞への対応案

資料 5 若手国際交流研究会 (仮称：日光シュンボシオン)

資料 6 西村製作所および五藤光学研究所 両社への感謝状贈呈

資料 7 事務所職員就業規則および規程類の制/改定

資料 8 条文追加に伴う定款・細則の修正

資料 9 ネットワーク委員会委員長の変更について

資料 10 天文学会 CoC 相談フロー案

資料 11 CoC 天文月報掲載の報告

資料 12 男女共同参画委員会からの報告

資料 13 年会実行委員会活動報告

資料 14 PASJ 編集委員会からの報告

資料 15 天文教育委員会からの報告

資料 16 2026 年秋季年会の準備状況について

2025 年 9 月 5 日

会 長： 太田 耕司 印

副会長： 長尾 透 印

副会長： 深川 美里 印

監 事： 熊谷 紫麻見 印

監 事： 中村 文隆 印